

国崎 敬一 教授 略歴

1949年11月 福岡県に生まれる

学 歴

1978年 3月 東京大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学

職 歴 等

1979年 4月 松山商科大学（現、松山大学）、（人文学部社会学科）
講師として赴任

1981年 4月 松山商科大学人文学部助教授

1990年 4月 松山大学人文学部教授

2000年11月 松山大学人文学部長就任（2004年10月31日まで）

2015年 3月31日 退職

所属する学会または研究会

組織学会

日本社会学会

国崎 敬一 教授 研究業績

著 書

	書 名	発 行 所	発行年月	備 考
1.	農山村社会と地域開発～神奈川県大井町相和地区～	東 大 出 版 会	1977/01	共著
2.	企業進出と地域社会	東 大 出 版 会	1979/03	共著
3.	地域産業の危機と再生	同 文 館	1990/07	共著

学術論文

	論 文 名	掲載誌名	発 行 所	巻 号	発行年月	備 考
1.	市場制社会の基礎構造～社会問題論のための前梯的論考～	社会 学 評 論	日本社会学会	28 3	1978/02	
2.	中根千枝の家族概念とナヤール問題～非市場的・贈与的社会組織の理論のための準備作業として～	松山商大論集	松山商科大学 商経研究会	31 4	1980/10	pp. 231-255
3.	愛媛県民性の一断面	愛媛の経済と社会	松山商大経済 経営研究所		1985/04	pp. 621-656
4.	社会問題及び社会病理の記号論的・構造主義的研究	私学研修成果 報告論文			1986/05	
5.	柄谷行人のゲーデル不完全性定理把握～ゲーデルの証明と近代社会における形式化のプロブレマティーク～	松山商大論集	松山商科大学 商経研究会	37 5	1986/12	pp. 49-78
6.	ゲーデル不完全性定理の存立諸契機に関する柄谷行人の見解～形式化の社会学のために～	松山商大論集	松山商科大学 商経研究会	37 6	1987/02	pp. 113-131

7. (駒ヶ根市における) 昭和40年代以降の電機工業の構造と動態『低成長下における地方工業化』所収 文部省科学研究費成果報告論文 1987/04
8. (米沢市における) 石油ショック以降の電機工業の構造と動態『低成長下における地方工業化』所収 文部省科学研究費成果報告論文 1987/04
9. 自己言及性と有限回帰的構成：柄谷のゲーデル不完全性定理把握～近代社会における形式化の探求のために～ 理論と方法 数理社会学会 3 1 1988/04
10. 中小企業の経営対応と人事務：C社、D社 日本労働研究機構『人手不足下の地域雇用事情と企業経営の対応・浜松編』 1991/12
11. 工程は分業構造の変動をいかに規定するか 松山大学論集 松山大学 3 6 1992/02 pp. 85-100
12. 「マツダと協力会社のチームワーク」「燕の金属洋食器産地における工程と分業」 『文部省科学研究費成果報告書『消費・生産の変容と地域産業システムの適応』第2章、第5章』(国崎編) 1992/03
13. 地域雇用事情と雇用動向－三条地域 日本労働研究機構『人手不足下の地域雇用事情と企業経営の対応・燕三条編』 1992/03
14. ウィトゲンシュタインの規則に従うことをめぐる議論と規範の存立 松山大学論集 松山大学 9 1 1997/04 pp. 111-124

- | | | | | | | | |
|-----|--|--------|---------------|----|---|---------|-------------|
| 15. | 会話における意
味確立をめぐる
権力闘争：フェ
ミニズムとウイ
トゲンシュタイ
ン | 松山大学論集 | 松山大学
学術研究会 | 13 | 3 | 2001/08 | pp. 81-92 |
| 16. | 地場産業概念を
めぐる諸問題と
暫定的解決案 | 松山大学論集 | 松山大学 | 17 | 6 | 2006/02 | pp. 193-211 |
| 17. | 論文の書き方教
育：内容と方法
(I)－論文と
はどういうもの
か (I)－ | 松山大学論集 | 松山大学
総合研究所 | 19 | 2 | 2007/06 | pp. 107-132 |
| 18. | 規範と心と言
葉：日本社会に
おける心治主義
という病弊(I)
－規範とはどう
いうものか(1)
－ | 松山大学論集 | 松山大学
総合研究所 | 19 | 3 | 2007/08 | pp. 139-163 |
| 19. | 論文の書き方教
育：内容と方法
(II)－論文とは
どういうものか
(2)－ | 松山大学論集 | 松山大学 | 19 | 6 | 2008/02 | pp. 85-117 |
| 20. | 知覚と行動：も
う一つの社会的
相互作用を探る
(1)－もう一つ
の視覚－ | 松山大学論集 | 松山大学 | 21 | 3 | 2009/08 | pp. 75-99 |
| 21. | ベンジャミン・
リベットの2つ
の発見 | 松山大学論集 | 松山大学 | 23 | 6 | 2012/02 | pp. 117-146 |
| 22. | 対面的コミュニ
ケーションにつ
いての考察(I)
－竹内レッシ
ン：体験と省察
に基づいて－ | 松山大学論集 | 松山大学 | 24 | 1 | 2012/04 | pp. 45-65 |
| 23. | 対面的コミュニ
ケーションにつ
いての考察(II)
－竹内レッシ
ン：体験と省察
に基づいて－ | 松山大学論集 | 松山大学 | 24 | 2 | 2012/06 | pp. 33-50 |

- | | | | | | | | |
|-----|---|--------|------|----|---|---------|-------------|
| 24. | 対面的コミュニケーションについての考察(Ⅲ)
-竹内レッスン：体験と省察に基づいて- | 松山大学論集 | 松山大学 | 24 | 3 | 2012/08 | pp. 109-127 |
| 25. | 対面的コミュニケーションについての考察(Ⅳ)
-竹内レッスン：体験と省察に基づいて- | 松山大学論集 | 松山大学 | 24 | 3 | 2012/08 | pp. 129-144 |
| 26. | 論文の書き方教育：内容と方法(Ⅲ) | 松山大学論集 | 松山大学 | 24 | 6 | 2013/02 | pp. 127-158 |
| 27. | 規範と言葉：日本社会における心治という病弊(Ⅱ) | 松山大学論集 | 松山大学 | 25 | 6 | 2014/02 | pp. 77-94 |

その他

論文名	掲載誌名	発行所	巻号	発行年月	備考
1. 機械工業の工程及び加工技術における有限回帰的構成性	城西大学	近代産業研究会		1986/09	
2. 電気工業における技術革新と地域レベルでみた生活構造の変化～米沢と上伊那を比較して～	たけしやま旅館	地域産業研究会		1987/01	
3. 地域産業社会論 (Industry-oriented Sociological Approach of Regional Society) の構想について	学士会館	地域産業研究会		1988/05	
4. 数学上の形式化と近代社会における形式化の諸現象	東北学院大学	数理社会学		1988/10	
5. 工程, 政策, 地域	東京学芸大学	地域産業研究会		1997/08	
6. ウイトゲンシュタインと規範の存立	明治薬科大学	現代社会研究会		1999/08	